

都城工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	英語
科目基礎情報					
科目番号	0067		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	建築学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	Reading Prospect (三修社) ISBN 978-4-384-33529-3				
担当教員	笹谷 浩一郎				
到達目標					
1) 科学技術に関する基本的な英語表現に慣れる。 2) テキストで与えられた課題に的確にこたえられるようになる。 3) ものづくりに関する基本的な英語表現を身に着ける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安 A	標準的な到達レベルの目安 B	未到達レベルの目安 C	(学生記入欄) 到達したレベルに○をすること。	
評価項目1	予習・復習に加え、自分なりの目標も決めて、英語学習を着実に進める習慣が身に付いている。	予習・復習を中心に、しっかりとした英語の学習習慣が身に付いている。	予習・復習に多少は取り組むことができる。	A ・ B ・ C	
評価項目2	テキストで学んだ語彙・表現を理解し、実際にそれらを使うことができる。	テキストで学んだ語彙・表現をほぼ理解できる。	テキストで学んだ文法・表現方法を多少は理解できる。	A ・ B ・ C	
評価項目3	指定された課題を80%以上正解できる。	指定された課題を60~80%程度正解できる	指定された課題を50%程度正解できる。	A ・ B ・ C	
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 C JABEE a JABEE f					
教育方法等					
概要	1) 科学技術に関する英文に親しみながら様々な演習を行う。 2) 日常的に使われる基本的な例文をもとに運用力の基礎を身につける。				
授業の進め方・方法	1) 毎回、指示された予習・課題にしっかり取り組むこと。 2) 授業中に学んだ表現を復習し、自分で声に出して練習すること。				
注意点	定期的に復習テスト(単語テスト)を実施する。				
ポートフォリオ					
(学生記入欄) 【授業計画の説明】実施状況を記入してください。 【理解の度合】理解の度合について記入してください。 (記入例) ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。 ・前期中間試験まで： ・前期末試験まで： ・後期中間試験まで： ・学年末試験まで： 【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。 (記入例) ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。 ・前期中間試験 点数： 総評： ・前期末試験 点数： 総評： ・後期中間試験 点数： 総評： ・学年末試験 点数： 総評： 【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたかどうか、記入してください。 ・総合評価の点数： 総評：					
----- (教員記入欄) 【授業計画の説明】実施状況を記入してください。 【授業の実施状況】実施状況を記入してください。 ・前期中間試験まで： ・前期末試験まで： ・後期中間試験まで： ・学年末試験まで： 【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。					

授業の属性・履修上の区分			
☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業計画の説明 Unit 1	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明 epidemic, pandemic, endemic の語源をたどる
		2週	Unit 1	epidemic, pandemic, endemic の語源をたどる
		3週	Unit 2	「熱さまシート」の開発経緯を理解する
		4週	Unit 2	「熱さまシート」の開発経緯を理解する
		5週	Unit 3	NASAとスヌーピーのつながりを理解する
		6週	Unit 3	NASAとスヌーピーのつながりを理解する
		7週	Unit 4	指紋認証精度を理解する
		8週	Unit 4	指紋認証精度を理解する
	2ndQ	9週	前期中間試験	
		10週	試験答案の返却・解説 Unit 5	「リケジョの先駆者たち」を理解する
		11週	Unit 5	「リケジョの先駆者たち」を理解する
		12週	Unit 6	ルービックキューブの歴史を理解する
		13週	Unit 6	ルービックキューブの歴史を理解する
		14週	Unit 7	金沢駅の魅力を理解する
		15週	Unit 7	金沢駅の魅力を理解する
		16週	前期末試験	
後期	3rdQ	1週	試験答案の返却・解説 Unit 8	オンラインコミュニケーションの弊害について理解する
		2週	Unit 8	オンラインコミュニケーションの弊害について理解する
		3週	Unit 9	持続可能な都市づくりを理解する
		4週	Unit 9	持続可能な都市づくりを理解する
		5週	Unit 10	ブルーカーボンについて理解する
		6週	Unit 10	ブルーカーボンについて理解する
		7週	Unit 11	ChatGPTの教育に対する影響を理解する
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	試験答案の返却・解説 Unit 11	ChatGPTの教育に対する影響を理解する
		10週	Unit 12	鉄腕アトムとNASAのDARTミッションについて理解する
		11週	Unit 12	鉄腕アトムとNASAのDARTミッションについて理解する
		12週	Unit 13	色の認識について理解する
		13週	Unit 13	色の認識について理解する
		14週	unit 14	結論に結び付く認知の特性について理解する
		15週	Unit 14	結論に結び付く認知の特性について理解する
		16週	学年末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	

評価割合

	定期試験	小テスト、発表	合計
総合評価割合	80	20	100
知識の基本的な理解	50	20	70
思考・推論・創造への適応力	30	0	30

汎用的技能	0	0	0
態度・志向性（人間力）	0	0	0
総合的な学習経験 と創造的思考力	0	0	0